

知事のベトナム・台湾訪問結果について①

12月16日（火）

- 知事及び訪問団一行は、12月15日に成田空港を出発し、日本時間の22時頃（現地時間の20時頃）、ベトナムハノイのノイバイ国際空港に到着しました。
- 12月16日午前、ベトナム初の工学専門大学として設立され、同国の技術系大学としては最高峰と言われるハノイ工科大学を訪れ、高度外国人材の本県への受入促進について意見交換を行いました。
- 午後、知事及び議員一行は、首相府においてファム・ミン・チン首相との4度目の会談を30分にわたり行いました。今後の交流促進に向けて、本県とベトナムとのさらなる連携を強化していくことを確認しました。
- また、レー・ホアイ・チュン外相との会談も実施し、引き続き、交流を推進していくことを確認しました。
- さらに、財政省においては、令和5（2023）年11月20日に当時の計画投資省と締結した経済交流に関する覚書について、中央省庁再編により同省を統合した財政省として改めて締結しました。
- 産業労働観光部長を筆頭とする知事班の一部は、ベトナム政府財政省が令和5（2023）年に開所した国家イノベーションセンター（NIC）を訪問し、ベトナムの最先端技術やイノベーション促進の取組について意見交換を行いました。
- 誘致班は、現地専門学校を訪問し、ベトナム国内における産業人材確保の取組状況や今後の本県との連携可能性についての情報収集及び意見交換を行うとともに、本県の企業立地環境の優位性をPRしました。
- 観光班は、現地で訪日旅行商品を扱う旅行会社を訪問し、栃木県の観光情報のPRを行うとともに、本県への送客に向けた旅行商品の造成を依頼しました。
- 農政班は、農業関連団体とともに、梨「にっこり」を扱う量販店を訪問し、現地販売状況の確認やバイヤーとの情報交換を行いました。
- 日本酒班は、県内酒蔵とともに台北（台湾）の日本酒専門店やスーパーマーケット、日本酒専門BARを訪問し、現地の日本酒の販売状況等について確認しました。
- 夕方からは、ハノイ市内のホテルにおいて、ベトナム政府や在ベトナム日本国大使館等の現地公的機関、民間企業等から要人を招き、「とちぎの魅力発信レセプション」を開催しました。知事をはじめとした訪問団は、現地の要人の方々と交流を深めるとともに、関係の強化を図りました。

1 ハノイ工科大学視察【知事・議会班】

(1) 日 時 12月16日（火）10:30～11:00

(2) 場 所 ハノイ工科大学

(3) 相手側（計8名）

フイン・クエット・タン学長、ファム・タイン・フェン学生支援部長 他

(4) 県 側（計 22 名）

- ・ 福田知事、池田議長、山田議員、中島議員、鱒渕産業労働観光部長、廣瀬国際経済課長 他
- ・ ジェトロ栃木貿易情報センター、民間事業者 他

(5) 内 容

知事及び訪問団一行は、ハノイ工科大学を訪問し、フイン・クエット・タン学長と会談しました。同大学の取組や卒業生の就職先などについて説明を受け、県からは栃木の産業や県内大学などを紹介し、高度外国人材の本県への受入促進に向けた意見交換を行うとともに、大学構内の視察を実施しました。

フイン・クエット・タン学長からは「本学卒業生が栃木県で活躍できるようお力添えいただきたい」とのメッセージをいただきました。



2 ベトナム政府要人会談【知事・議会班】

(1) 日 時 12月16日（火）9:30～10:00、18:00～18:30

(2) 場 所 中央政府機関

(3) 相手側

- ① ファム・ミン・チン首相
- ② レー・ホアイ・チュン外相

(4) 県 側（計 11 名）

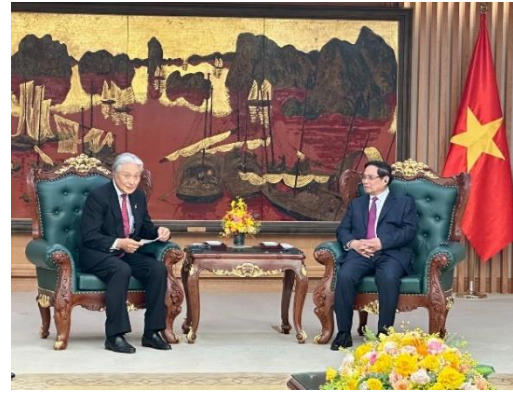
- ・ 福田知事、池田議長、山田議員、中島議員、廣瀬国際経済課長 他
- ・ ジェトロ栃木貿易情報センター

(5) 内 容

① ファム・ミン・チン首相との会談 18:00～18:30

首相府においてファム・ミン・チン首相と知事との4回目となる会談を行いました。知事からは、本県とベトナムとの友好関係の継続と引き続きの経済交流への協力・支援を依頼しました。

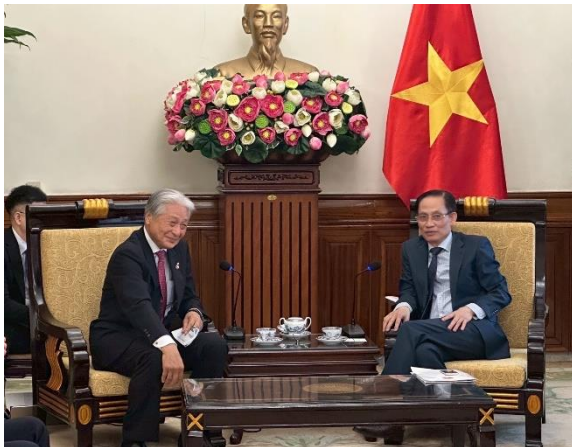
ファム・ミン・チン首相からは、ベトナムへの投資促進とともに、本県とベトナムでの地域間による積極的な連携推進に対する協力・支援の依頼がありました。



②レー・ホアイ・チュン外相との会談 9:30～10:00

外務省においてレー・ホアイ・チュン外相との会談を行い、知事からは、これまでの本県とベトナムとの交流や取組を説明し、今後も地方・中央政府との関係性の強化について協力・支援を依頼しました。

レー・ホアイ・チュン外相からは、今後も本県との交流を促進していくとともにイノベーションやDX等の新技術や教育分野で交流を強化していきたいとの意向が示されました。



3 財政省との経済交流に関する覚書の締結【知事・議会班】

(1) 日 時 12月16日(火) 15:40～16:10

(2) 場 所 財政省

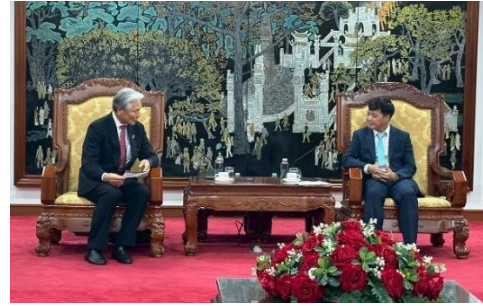
(3) 相手側 グエン・アン・トゥアン次長

(4) 県 側（計 11 名）

- ・ 福田知事、池田議長、山田議員、中島議員、廣瀬国際経済課長 他
- ・ ジェトロ栃木貿易情報センター

(5) 内 容

グエン・バン・タン財政相が来日中のため、同省外国投資局グエン・アン・トゥアン次長と会談を行い、今後も本県との経済交流を促進・強化していくことを確認し、令和 5（2023）年 11 月 20 日に当時の計画投資省と締結した「経済交流に関する覚書」について、改めて、財政省として再締結しました。



4 国家イノベーションセンター（N I C）社訪問【知事班②】

(1) 日 時 12 月 16 日（火）13:30～15:00

(2) 場 所 国家イノベーションセンター（ハノイ市内）

(3) 相手側（計 5 名）

企業支援部 ファン・ティン・クン・ヴァン主任専門官 他

(4) 県 側（計 10 名）

- ・ 鰐淵産業労働観光部長 他
- ・ 民間事業者 他

(5) 内 容

産業労働観光部長をはじめとした一部の訪問団は、本県と覚書を締結しているベトナム政府財政省（旧計画投資省）が令和 5（2023）年に開所した科学・産業技術集積拠点である国家イノベーションセンター（N I C）を訪問しました。ファン・ティン・クン・ヴァン主任専門官から同センターが手がける様々な事業について説明を受けた後、ベトナムの最先端技術やイノベーション促進の取組について意見交換・視察を行いました。ファン・ティン・クン・ヴァン主任専門官からは、「スタートアップや成長分野産業の振興について栃木県と連携し、互いの発展に貢献していきたい。」などのコメントがありました。



5 とちぎベトナムサポートハブ訪問【知事班②】

(1) 日 時 12月16日(火) 13:00～14:00

(2) 場 所 とちぎベトナムサポートハブ

(3) 相手側 (計3名)

フィ・ホア代表取締役社長 他

(4) 県 側 (計11名)

- ・福田知事、池田議長、山田議員、中島議員、廣瀬国際経済課長 他
- ・ジェトロ栃木貿易情報センター

(5) 内 容

知事及び訪問団一行は、とちぎベトナムサポート拠点事業の進捗確認などを行うとともに、ベトナム市場トレンドなどについて意見交換をし、ベトナムでの県内企業の輸出・進出等に関する知見を得ました。



6 現地専門学校訪問【誘致班】

(1) 日 時 12月16日(火) 10:00～11:30

(2) 場所 FPT polytechnic

(3) 相手側 (計2名)

国際協力部 ファム・トゥアン・アン氏 他

(4) 県 側 (計3名)

- ・監物産業政策課企業立地班長 他

(5)内 容

誘致班は、ベトナム大手IT企業、FPT グループの専門学校である FPT Polytechnic に訪問しました。先方からの学校紹介の後、栃木県の紹介や県内の企業立地環境の優位性についてPRするとともに、ベトナム人人材の教育及び日本への送り出し状況、本県との連携可能性等について意見交換を行いました。



7 旅行会社等訪問【観光班】

(1)日 時 12月16日(火) 9:00～15:00

(2)訪問先

- ①Saigontourist
- ②Vietravel
- ③ISVN20 JOINT STOCK COMPANY

(3)県 側 (計7名)

- ・倉金観光交流課長、観光交流課職員
- ・公益社団法人栃木県観光物産協会、観光事業者

(4)内 容

観光班は、現地で訪日旅行商品を造成・販売している旅行会社3社を訪問し、栃木県観光物産協会や県内観光事業者とともに栃木県の観光情報のPRを行い、本県への送客に向けた旅行商品の造成を依頼しました。



8 現地バイヤー訪問【農政班】

(1) 日 時 12月16日(火) 10:00～13:00

(2) 訪問先

①Klever shop - 32A Nguyễn Chí Thanh

②Klever shop - 06 Lý Thường Kiệt

③Klever shop - 66 Trần Thái Tông

(3) 県 側 (計4名)

- ・経済流通課職員
- ・一般社団法人とちぎ農産物マーケティング協会
- ・ジェトロ栃木

(4) 内 容

農政班は、ベトナムにおいて 47 店舗のフルーツ店を展開する輸入・販売事業者 K. L. E. V. E TRADING AND INVESTMENT JOINT STOCK COMPANY の直営店舗 3 店舗を、関係団体とともに訪問し、県産梨の他、日本産青果物や他国産青果物の販売状況を確認しました。

店舗スタッフからは、「にっこりのおいしさや甘さ、産地の情報などについて、他国産よりも優れた点を伝えながら販売することで高価格帯での販売が可能となっている。引き続き協力しあっていきたい」との発言があるなど、今後の取引拡大に向けた情報交換を行うことができました。



9 現地市場調査【日本酒班】

(1) 日 時 12月16日(火) 13:00～20:00

(2) 訪問先

①JLK SAKE STUDIO

②Breeze Super 信義店

③日本酒専門 BAR 心白

(3) 県 側 (計7名)

- ・工業振興課職員
- ・県内酒蔵 (4社)

(4) 内 容

日本酒班は、県内酒蔵とともに台北(台湾)の日本酒専門店やスーパーマーケット、

日本酒専門BARを訪問し、日本酒の販売状況等を確認しました。

現地での日本酒の流通状況や消費者層、日本酒の飲まれる機会等を確認し、今後の取引拡大に向けた情報交換を行うことができました。



10 とちぎの魅力発信レセプション【全班】

(1)日 時 12月16日(火) 18:30~20:00

(2)場 所 ホテルデュパルクハノイ

(3)対象者(約50名)

- ・在ベトナム日本国大使館 伊藤直樹 特命全権大使
- ・ベトナム政府関係者、現地の企業・団体等の要人、現地県人会 他

(4)県 側(計38名)

- ・福田知事、池田議長、山田議員、中島議員、鯨渕産業労働観光部長、廣瀬国際経済課長、倉金観光交流課長 他
- ・ジェトロ栃木貿易情報センター
- ・公益社団法人栃木県観光物産協会
- ・一般社団法人とちぎ農産物マーケティング協会
- ・民間事業者

(5)内 容

知事が、ベトナム政府や企業関係者、約50名の招待者に向けて、食や観光、産業など、本県魅力を発信しました。

会場では、招待者へ本県の地酒やとちぎ和牛のステーキ、とちぎの星のおにぎり、梨「にっこり」を提供したほか、観光動画を放映、各種パンフレットを配布するなどして、本県魅力についてPRするとともに、ベトナム関係者との交流を積極的に行い、関係性の強化を図りました。

